

平成30年度 北浦和小学校教育計画

1 学校教育目標

進んで学び 高め合う 北小の子

2 目指す学校像

伝統と創造、日本の若い力を育てる学校

— 希望（ゆめ）のまちの『学港』 —

3 目指す児童像

- よく考え 進んで学ぶ子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 明るく健康で たくましい子

〈合い言葉〉 「あかるく なかよく すこやかに」

4 学校教育目標の実現にむけて

- ① これまでの本校のよさと伝統を大切にするとともに、新しい文化を創造し、時代の要請に応える質の高い教育を推進する。
- ② 一人ひとりの子どものよさを認め、よさを伸ばし、笑顔と自信をもたせ、いつもわくわく感にあふれる子どもを育成する。
- ③ 学校・家庭・地域との連携を深め、安心・安全、そして特色ある学校づくりを推進し、心のふるさととなる学校とする。

5 道徳の重点目標

思いやり

6 努力事項

(1) 確かな学力と論理的思考力の育成（ベーシック教育 クリティカルシンキング教育）

- ① 魅力ある温かみのある学級づくりを推進し、児童理解を深め、児童に寄り添う指導に努める。
- ② 導入の工夫などにより授業への参加意欲を向上させ、学習習慣の確立と基礎的・基本的な知識・技能の習得に努めるとともに、言語活動の充実につとめ、思考力、判断力、表現力を育成する。
- ③ 体験的な活動や問題解決的な学習など、アクティブラーニングを取り入れた指導、学び合いの機会を設定する等、指導方法や指導体制の工夫・改善を図り、個に応じた指導の充実を図る。
- ④ 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるようにすることを目指したグローバル・スタディ科の目標を踏まえ、ALT 等と協同して授業の充実を図る。
- ⑤ 授業のユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT機器や学習資料の効果的な活用を図り、わかる授業の実現を図る。
- ⑥ 義務教育9年間を見通した小中一貫教育を行う。
- ⑦ 特別支援教育の充実を図り、一人ひとりの児童の力をより伸ばさせるように努める。

(2) 豊かな人間性の育成（ヒューマニティ教育）

- ① 一人ひとりの児童を尊重し、児童自身に有用感、誇り、自信をもたせる。
- ② あらゆる機会をとらえて児童理解を深め、全教職員でのチーム指導と、保護者との連携による教育相談の充実を図る。
- ③ いじめ防止基本方針に基づき、いじめや差別を絶対に許さない積極的な生徒指導を推進する。
- ④ 道徳教育の一層の充実を図り、思いやりや感謝の気持ちの育成に努める。
- ⑤ きまりを守り、約束を大切にすることの育成を図る。
- ⑥ 音楽科、図画工作科教育の充実を図るとともに、読書教育、環境教育、国際教育、福祉教育、体験的な活動を重視し、伝統と文化を尊重する心、感動する心、自他の命を尊重する心の育成を図る。
- ⑦ 一人ひとりの人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決していこうとする児童の育成に努める。

(3) 健やかな体の育成（ウエルネス教育）

- ① 体育科授業の充実を図るとともに、日常的な活動に投力、握力、走力の向上を目指す活動を取り入れ、体力の向上を目指すとともに、生涯にわたってスポーツに関わろうとする意欲を育成する。
- ② 保健教育の充実と保健管理の徹底を図るとともに、心身を積極的に鍛え、より健康な生活を目指し、維持、発展させようとする子どもを育成する。
- ③ 児童が安全に生活できる環境づくりに努めるとともに、子ども自身が危険を予測し、自ら身を守ることができるようする安全教育の充実と安全管理の徹底を図る。
- ④ 学校給食を通して、望ましい食習慣や好ましい人間関係を育成するとともに、食に関する指導を充実させる。

(4) 豊かな人間関係とリーダーシップ力の育成（リーダーシップ教育）

- ① 明るく元気な挨拶、返事を進んで行えるようにするとともに、「心を潤す4つの言葉」を推進し、全校児童がよりよい人間関係を構築できるよう努める。
- ② お互いのよさを引き出しあえる関係を築き、ある時にはリーダー、別の局面ではフォロワーとなれるよう、リーダーシップスキルの育成に努める。
- ③ 自分の考え、意見をもつとともに、他の考え、意見を尊重し、ともに励まし学び合う姿勢の育成を図る。

(5) 夢に向かって努力する心の育成（オリンピック・パラリンピック教育）

- ① 2020 東京オリンピックを視野に入れ、すべての教育活動を通して、オリンピックの3つの価値である卓越(Excellence)、友情(Friendship)敬意・尊重(Respect)とパラリンピックの4つの価値、勇気(Courage)、決断力(Determination)、平等(Equality)、鼓舞(Inspiration)を、体験を通して身に付けさせるよう努める。

(6) 心に潤いを持たせる教育環境の整備と充実

- ① 伝統ある校舎をきれいし、大切にしようとする心を育む。
- ② 植栽活動、清掃美化活動、掲示教育の充実を図り、美しく快適な環境づくりに努める。
- ③ 施設設備、読書環境等の整備充実と活用努めるとともに、歌声、合奏が響く環境づくりに努める。
- ④ 学校・家庭・地域との連携を図り、教育環境の整備充実に努める。

(7) 家庭・地域と連携した特色ある教育活動の推進

- ① 保護者や地域の人々の協力のもと、地域の学習機関や学習環境の積極的な活用を図る。
- ② 北浦和フェスティバル、ありがとう集会、地域講師の招聘、幼・中・高・大学と連携した活動、マーチングバンドの活動等、地域とともに歩み、特色ある活動を推進する。
- ③ 家庭・地域等との連携、信頼関係を一層深め、地域に誇りと自信をもてる子どもの育成に努める。
- ④ 学校や児童の活動の様子を、家庭・地域に積極的に情報提供し、開かれた学校づくりに努める。